主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　3

キリストは命の種、ダビデの子孫であり、わたしたちの中にまかれて、神の建造のために内側で成長する

聖書：サムエル下 7:12-14 前半．マルコ 4:11-20, 26-27．Ⅰコリント 3:9．Ⅱコリント 3:6

Ⅰ．神の永遠のエコノミーの教え全体の内在的な要素とは、人性における三一の神、栄光を受けたイエスの霊としてのすばらしいキリスト、命の種、ダビデの子孫が神の選びの民の中にまかれ、彼らの中で成長し、彼らの中で生き、彼らの中で発展して、神の農場としての彼らの内側から表現されて、神の家また神の王国としての召会を建造するということです――サムエル下 7:12-14 前半．マタイ 16:18．マルコ 4:11-20, 26-27．Ⅰコリント 3:9．参照、レビ 19:19．申 22:9：

A．新契約の内在的な要素とは、人性における三一の神、命を与える霊、命の種としての栄光を受けた神・人が、神の選ばれ贖われた民の中に供給されることです――マルコ 4:3．使徒 6:4．Ⅱコリント 3:6．啓 14:4。

B．キリストの人性は彼の受肉を通して殻となり、彼の神聖な命の火と彼の神性の栄光を隠しました――ヨハネ 12:23-24, 31-32。

C．彼の肉体の死は彼の神聖な命の火を解き放ち、復活における彼の信者たちの霊的な命の衝撃となりました。七倍に強化された霊としての復活させる三一の神は、神聖で奥義的な火として信者たちに内住して彼らをきよめ、供給し、彼らの内住の燃料となって神のエコノミーを完成し、命の種としてのキリストを増殖させます――ルカ 12:49-50．啓 4:5．5:6．出 3:2, 14-15．ゼカリヤ 3:9．4:10．歴代下 16:9 前半．参照、創 17:1。

Ⅱ．すばらしいキリストはダビデの子孫であり、神がご自身をキリストの信者たちの中に分与して、神のエコノミーを成就するためです：

A．ダビデの子孫、ダビデから生まれた者として、キリストはエホバの枝出し、ダビデの若枝、神なるエホバの新しい発展であって、三一の神がご自身を彼の神性の中で人性の中に枝出しするためです。エホバの枝出しは、完全にその霊の事柄です――イザヤ 4:2．11:1-2．ガラテヤ 5:25．6:17-18．ピリピ 1:19-21 前半．エペソ 4:1-4。

B．命を与える霊としての復活したキリストは、神の確かなあわれみであり、キリストはその中心また実際であって、キリストの母であるダビデの子孫マリア（マタイ 1:16）を通してダビデに示され、神ご自身をキリストの復活の中で彼の信者たちすべての中に分与するためです――使徒 13:32-35．イザヤ 55:3-4。

C．ダビデに示された確かなあわれみは、命を与える霊としてのキリストであり、わたしたちの霊的な飲み物、霊的な食物、天の雨、天の雪であって、それはわたしたちが彼を飲む者、食べる者、まく者となるためです―― 1-13 節。

D．悪しき者の邪悪な状態は、彼らが主に来て主を食べ享受することをしないということです。彼らは多くの事を行ないますが、主と接触して彼を取り、彼を受け、彼を

味わい、彼を享受することをしません。神の目に、これほど邪悪なものはありません―― 7 節．57:20。

Ｅ．ダビデの子孫としての復活したキリストは、彼の人性における王子、王であり、それはわたしたちが、あふれるばかりの恵みと義の賜物を受けることによって、彼の王職にあずかり、神の行政のために神聖な命の中で支配するためです――サムエル下 7:12-14 前半．使徒 5:30-31．啓 17:14．ローマ 5:17。

Ⅲ．わたしたちは内側の命の種の成長のために、わたしたちの人の霊、人の心、朽ちる体の新鮮な、最新の、日ごとの彼への献身を持つ必要があります。それは命の神聖な種が、わたしたちの内なる存在の人性の栄養すべての完全な供給をもって、わたしたちの中で成長しキリストがわたしたちの朽ちる体の中で大きく表現されて、わたしたちが命によって飲み尽くされ、キリストのからだを建造することができるためです――マタイ 5:3, 8．箴 4:23．20:9．22:11．ピリピ 1:20．コロサイ 2:19：

Ａ．わたしたちは時間を取って神を吸収する必要があります。それは神の増し加わりによって成長し、神の家また神の王国としての召会を建造するためです―― 19 節．イザヤ 50:4-5．マルコ 1:35．参照、ルカ 8:13。

Ｂ．主に仕える者は、彼らの奉仕が神を起源とするべきであることを見なければなりません：

１．「神のために働きをやめることができない者はだれも、神のために働くことはできません」――Ｍ．Ｅ．バーバー。

２．ダビデは機会を持ち、必要を見て、神の宮を建てる能力を持っていましたが、神の言葉が彼に臨んだときにやめました――サムエル下7:18, 25, 27．参照、ルカ1:38。

３．ダビデがやめたことは、宇宙で二重の証しを打ち立てました。第一に、この宇宙におけるすべての働きは神から来るべきであって、人からであってはなりません。第二に、重要なことはすべて、神が人のために何を行なうかであって、人が神のために何を行なうかではありません――ローマ 11:36．参照、民 18:1。

４．宮の建造者と宮の敷地はいずれも、ダビデの罪が赦されたことから、神がダビデのために行なったことから来ました――サムエル下 12:24-25．24:1-10，18-25．歴代上 21:18．歴代下 3:1．詩第 51 篇。

５．わたしたちは神に語っていただき、命じていただく必要があり、彼と協力する必要があります。それは、わたしたちが彼を畏れ、彼を愛するからです――出 21:1-6．詩 86:11．Ⅰコリント 2:9。

Ｃ．わたしたちは霊の中へと増強されて、霊の中で霊をもって、またわたしたちの真実としてのキリストをもって神を礼拝し、キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造るようにしなければなりません――エペソ 3:16-19．ヨハネ 4:23-24。

Ｄ．わたしたちの心は確立されて、聖別の中で責められるところのないものとなる必要があります。わたしたちは主に、わたしたちの心を神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと、導いてくださるように求める必要があります。わたしたちは心を対処してそれが良い土地となり、キリストが妨げのない方法で成長することができるようにする必要があります――Ⅰテサロニケ 3:13．Ⅱテサロニケ 3:5．マタイ 13:8。

Ｅ．わたしたちは、赦す命としての内住のキリストによって心から人を赦し、王国の実

際のために、彼に内側で支配していただき、裁定する平安としての内住のキリストによって心から人を赦し、一人の新しい人のために、彼に内側で管理していただく必要があります。わたしたちは人を赦すことによって彼らを解放し、自分が解放されて神に赦され、内側の神の種が自由に成長するようにする必要があります――6:15．18:35．コロサイ 3:12-15．ルカ 6:37。

Ｆ．わたしたちは財物を密かに与えて命の種をまき、広げ、物質の供給を神の召会に、神の窮乏の聖徒たちに、神の全時間のしもべに、貧しい人々に、神の愛の中で、神の優しさをもって、神の福音のために与える必要があります――38 節．Ｉコリント 16:1-2．マタイ 6:1-4, 19-21．19:21．使徒 11:29．ローマ 15:26．ピリピ 4:16-17。

Ｇ．わたしたちは神の王国の福音を、人の住む全地に宣べ伝えることによって、神の言葉としての命の種をまく必要があります。それは未信者に対して、彼らがキリストに回心するためであり、信者に対して、彼らがキリストの中で成長するためです。これは命の種をまき、植え、水を注ぐことであり、キリストの計り知れない豊富を福音として告げ知らせることにより、また神の家、神の王国としての召会を建造するために預言することによります――マタイ 24:14．ローマ 1:1．エペソ 3:8．Ｉコリント 3:6．14:4 後半, 31。

©2006 Living Stream Ministry